

【平成27年度 外国籍市民施策懇話会・通訳意見交換会合同会議 議事要旨】

日時 平成28年2月9日(火) 14:00～16:15
場所 市役所 東館1階 会議室5
出席者 通訳…大山、建部、長井、森田、古屋、サントス
委員…高橋、石原、可児、野間、小崎
事務局…近藤課長、浦係長、牧野
傍聴者 なし

【1. 議題】

(1) マイナンバー制度とその対応について(通訳)

事務局

- ・政府インターネットテレビ「1人に1つ。マイナンバー」を視聴。
- ・制度の概要、外国籍住民への影響、豊明市の状況等を説明。

意見交換

- ・在留カードと同様に、常に携帯しなければならないか。(携帯の義務はない)
- ・個人番号カードは作った方がよいか。
→このタイミングでの作成は無料だが、個人番号カードの期限は在留カードの期限に合わせてあるので、期限後に個人番号カードを更新する際は有料となる。個人番号カードの作成については、早急に判断せず、検討した方がよい。
- ・現在豊明市では、通知カードが約2千世帯ほど戻ってきている。

(2) 市通訳との意見交換について(通訳、懇話会委員合同)

*高橋会長からご挨拶。合同会議の趣旨を説明後、通訳、懇話会委員の自己紹介。

①国籍別外国籍住民の動向

事務局

- ・県内・豊明市の外国籍住民の動向について、データを基に説明。

意見交換

- ・フィリピンの方が増えてきているのは、各現場で感じている。
- ・フィリピン・中国・ベトナムの方は、日本語を習得する努力をしているように感じるので、言語対応でそれほど困ったケースはない。
- ・言語だけでなく、日本の教育制度や文化等を全く理解していない場合は、日常生活に慣れていく段階ごとに丁寧な説明が必要となる。
- ・通訳が足りない、中国語・英語の通訳がないことに対して何か対応はしていないのか。
→人口比率としては、現在の配置についてもかなり手厚く導入時期も早かった。(中学校への配置人数も増えている)現在いない言語については、対象者の人数を見ながら調整していく。
→懇話会委員の中に教育委員会の担当者が入っているので、就学の課題についてダイレクトに議論でき、改善を検討していける。

②情報提供

事務局

- ・国のプラン「1 コミュニケーション支援の①②」、「2 生活支援の①」の部分に対応している。
- ・外国語版広報の設置場所の増設について説明。
- ・相談窓口一覧の配布として、生活便利帳の活用について説明。

意見交換

- ・保育園・小学校へはどのくらい配布しているのか。
→対象者分送っており、保育園・学校を通じ各世帯へ届いている。
- ・幼稚園も外国の子どもを受け入れ始めているので配布してほしい。情報提供についても、日本人のタイミングではなく、外国の習慣や制度も考慮したタイミングで行うと効果的である。
→外国語版広報については、現在の場所に継続的に配布するのではなく、新たな場所への設置やタイミングの検討など、改善できることを順次行っていく予定。

③子どもの就学

事務局

- ・国のプラン「2 生活支援の②」の部分に対応している。
- ・昨年開催した県主催の「外国につながる子どもと保護者のための進路説明会」について、当日の様子や今後の開催予定について説明。

意見交換

- ・進路説明会は、市内の方だけが対象か。
→いろいろな自治体で誘致しており、参加者は会場市在住の方でなくてもよい。
- ・会場が遠かった。
- ・日本語教育活動のNPO法人・プラスエデュケートには、豊明市に転入した外国のお子さんの情報が入ってくるが、その後プラスエデュケートに来ない場合、不就学となっているのではないかと心配している。
→住民登録があれば、小学校に入る段階でご本人には意思確認している（学校教育課）。豊明市立以外の学校に行く場合もあり、それ以上の状況確認は無理にはできない。
- ・学校の勉強についていけない場合の指導はどうしているのか。
→日本語教師が派遣され、取り出し授業を行ったり、それ以前の段階の生徒については、プレクラス（プラスエデュケート）へ通い、学校の授業に振り替えたりの対応をしている。

④地域で活躍できる人の発掘

事務局

- ・国のプラン「3 多文化共生の地域づくり」の部分に位置づけられている。
- ・まずは、集住地区である団地自治会の行事へ参加（地域への参画）を検討していき、その繋がりから核となる人を考えていく必要がある。

意見交換

- ・12月に団地自治会主催のもちつき大会を開催した際に、プラスエデュケートに声をかけ、子どもたちに参加してもらった。このようなことをきっかけとして繋がりをもっていきたいと考えている。

・それぞれの国にちなんだ踊りや民族衣装のショー等のイベントはどうか。

→日本で育って大きくなっているので、母国の踊り等は難しいと思う。日本語の発表等がよい。

・いきなりイベント（訓練）に参加してといっても集まらない。興味を持てるようなことを考えたり、プラスエデュケートに協力してもらったりしていく中で、信頼関係を築いていくことが重要である。

（3）多文化対応事例調査結果について（懇話会）

事務局

・刈谷市の多文化対応事例調査の結果について報告。

意見交換

・豊橋市に登録バイリンガルという制度がある。1時間単位で派遣される有償ボランティア。そのような方を育てていけるようなシステムがあるとよい。

→市国際交流協会で、語学ボランティアの募集をしているが、登録があまりない状況。無償ボランティアなので様々なレベルの人がいる。

→通訳意見交換会を開催しているので、その中でそれぞれの現場での課題を相談したり、ベテランの方が経験の浅い方にアドバイスしたりという機会が得られている。

【2. その他】

・新懇話会委員の紹介（二股みえ委員）

・マイナンバーの提出依頼を渡す。

【次回開催日】

*来年度第1回目は、5月後半で日程調整する。